



2023

2024

ANNUAL REPORT

一年間のご報告

創立10周年を記念して



2023-2024年校長

マルコム・マッケンジー

当初の予定通り、20ヶ月という短い任期を無事に終えることができました。ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン (UWC ISAK) で非常に楽しく、素晴らしい時間を過ごすことができました。

そこで、今年度を通して私の心に強く印象に残っている、この学校の3つの宝物を紹介いたします。以前、別の機会にご紹介したこともあります。私にとってはいずれも極めて鮮烈で力強いものでしたので、改めてご紹介させていただきたいと思います。

コミュニティ

ズールー語には「*Umuntu ngamuntu ngabantu* ; 人は他者の存在によって人となる」という言葉があります。この言葉が、毎日体現されていることを目にしてきました。類い稀なる多様性を内包する当校のコミュニティでは、お互いの違いを受け入れ、共に生きることを学ぶことで、より人間的に成長するのです。これは容易なことではありません。私たちは共に多くの間違いをおかしますが、それを乗り越えていくために、共に支え合うのです。UWC ISAKでの数年間は、個人としても集団としても、私たちの人間性を飛躍的に高めてくれました。

多様性

当校には、世界80か国から200名の生徒が集まっています。非常に温かいご支援者の皆様のおかげで、約70%の生徒が奨学金を受給できております。生徒たちは、文化的・社会的・経済的背景はもちろん、信仰や政治的視点など、さまざまな考え・価値観を有しています。日々このような多様性に触れることで、その違いを受け入れ、その違いから学ぶことができます。この多様性こそが、強力な教育者なのです。

学び

当校では、さまざまなタイプの学びを大切にしています。学術的な学びだけでなく、野外教育、プロジェクトワークを通じた実践的な学び、リーダーシップ・プログラム、起業体験イベント、国際問題に関する討論会、生徒主導のクラブ活動など、幅広い分野で学びを深めています。このような学びを実現させるために、生徒を信頼し、生徒自身が責任と主体性を持って行動できるような環境を実現しています。

以上が、私をもっとも愛するこの学校の宝物です。皆様にもお力添えをいただき、この宝物をこれからも守っていきたいと思っています。

2023-2024年校長

マルコム・マッケンジー

2023-2024年度



生徒数：200名



生徒の国籍数：79カ国



奨学金給付率：70.5%



教職員数：66名

2014-2024年度 過去10年間



卒業生数：521名



これまでに在籍した生徒の国籍数：127カ国



これまでの奨学生数：486名



これまでのご寄付：101億円
*2024年6月現在

ファウンダー、カタリスト・サポーターのご紹介

ファウンダーの皆さま

谷家 衛*
小林 繁肇・りん
高橋 百合子
山本 公哉
柳沢 正和
青井 理香
立石 文雄
林 秀彦・三千代
河野 宏子
居松 秀浩* †
小澤 (兼信) ふみ子 †
ネルソン ブライアン
小柴 正浩*
小島 勝
吉野 永之助
加藤 元
井上 高志
田中 将太郎
村田 貴士* †
高野 真
夏野 剛
水谷 浩明
川田 尚吾
佐藤 輝英
松木 光平
出井 伸之
北城 格太郎
井上 智治
伊藤 友則
山岸 広太郎
エアン ショー
宮澤 栄一
中島 周
小泉 泰郎
一般財団法人 小川奨学財団
衣畑 秀樹
三宅 伊智朗

本庄 竜介
鈴木 エドワード
菅原 勇一郎
辻本 春弘
堀江 伸 †
高山 健
佐浦 弘一
公益財団法人 石橋財団
佐護 勝紀 †
岩倉 正和
神山 治貴*
小林 正忠
小林 一俊
マニヤン ジャック・麻里子
加治 ファミリー
佐藤 茂*
武田薬品工業株式会社
長谷部 泰三
奥本 真一郎
福武 純子*
本多 均*
小泉 洋二郎・光美
安東 泰志*
有田 浩之
岩崎 俊男・美紀子
武田 洋子
山口 典子
安淵 聖司
木村 新司
養田 秀策*
氷室 利夫
一般社団法人 野中
インスティテュート・オブ・ナレッジ
株式会社 ホッピーミーナ
岡田記念会
川鍋 一朗
諸藤 周平
三宅 卓*

ユナイテッド・マネージャーズ・
ジャパン株式会社
永瀬 昭幸
高井 洋子
末広 真樹子
藤武 慶三
吉澤 信司
内山 幸樹
分林 保弘
俞 梅
藤武 貴尚
古川 淳
島田 亨*
佐山 展生
柏木 斉
吉田 あや子、佐々木 寛・雅子
施 艺
マクナーニ ポール・真樹
川村 隆
米日財団
藤田 恭嗣
増田 宗昭
畠山 康・麻紀子
池田 祐久
角川 歴彦
青山 健

カタリスト・サポーターの皆様

渡邊 洋行
山本 真一
真鍋 康正
馬場 功淳
大下 悟
孫 小蕾
ゴー ユーリン
YKK Holding Asia Pte Ltd.
田中 剛
藤森 義明

浜本 (森) 淳子
中村 春雄
小杉 明
塩田 元規
小佐野 保
大平 亮
公益社団法人 リソー教育岩佐財団
公益財団法人 服部国際奨学財団
阿部 亮
菅原 貴弘
志村 晶・三千代*
有馬 友樹・有馬 誠
橋本 幸一郎
株式会社 みずほフィナンシャル
グループ
林 竜也・真理子
株式会社 バイキング
玉川 憲
ゴヴァース 健二・寿
梅田 優祐
杉江 陸
小方 功
金子 英樹
池尻 由貴
井内 英夫・美佐子・郁江*
田中 良和
越智 通勝
株式会社 メディアドゥ
渡 伸一郎*
いちごアセットマネジメント株式会社
石井 壯太郎
芳川 可奈子・裕誠
上野山 勝也
西川 友也・美弥子
加藤 晴子
里見 治紀

(ご支援順：敬称略)

* 名誉ファウンダー

† ゴールドマン・サックス・ギブスを通じてのご支援

* 名誉カタリスト・サポーター



8月 10周年記念基金スタート

2023年8月24日、UWC ISAKの創立10周年を記念し、10周年記念基金がスタートしました。一年に渡る皆様からの温かいご支援のおかげで、第一目標額を達成することができました。心より御礼申し上げます。また、この一年で当校コミュニティにおいて、感謝の心を持つ文化をより高めて参りました。詳細は、当校10周年記念サイトをご参照ください。

9月 UWCデー

毎年9月21日の「国連国際平和デー」に開催されるUWCデーでは、「持続可能な未来を創る」をテーマに、生徒主導でさまざまな活動を行いました。平和を呼びかけるオープニング・セレモニーから始まり、キャンパス全体でサステナブルな活動への取り組みを呼びかけ、国際色豊かなファッションショーや文化の紹介も行いました。



10月 秋のプロジェクト・ウィーク

初めての取り組みとなる高1、二年目になり更に具体化する高2、三年間の集大成を発表する高3。それぞれ教育や健康、環境問題など、自分の興味関心ある分野について、地域社会にとってインパクトのある解決策を目指し、自身のアイデアの実現可能性や価値を検討しました。

11月 国際文化教育フェスティバル

11月4日、当校で初めてとなる国際文化教育フェスティバルを開催しました。地域の方を中心に約600名のゲストが来場し、さまざまな文化や当校の授業、生徒主導のプロジェクト紹介を通して、多様性の素晴らしさを伝え、校内行事に留まらず、地域コミュニティとの絆も深めました。



12月 人権の日

世界人権宣言75周年を記念して、12月6日、全校生徒が人権問題に関する複数のワークショップを行いました。差別や偏見、大量消費主義、ジェンダーによる役割分担、環境問題など、さまざまな角度から人権問題を取り上げ、自分の中にある偏見や差別と向き合いました。



1月 リーダーシップ・プログラム

1月16日、17日の2日間に渡り、起業家のマット・チェン氏をゲストに迎え、リーダーシップ・プログラムの特別授業を実施しました。また、ダイス・ユキタ氏によるデザイン思考に焦点を当てたワークショップも開催され、各生徒が自身のプロジェクトを推進するための知見を広げました。

2月 UWCタイの生徒との交流、UWC国際会議

本校のマルコム校長とアーデン次期校長、そして数名のスタッフと生徒が、タイで開催された2018年以来となるUWC国際会議に出席し、UWCの組織としての運営・教育方針を話し合いました。また、UWCタイの生徒4名が当校に来訪し、お互いの学校について意見交換を行い、学び合う機会となりました。



3月 春のプロジェクトウィーク

バングラデシュでのボランティア活動、軽井沢町での環境に優しいライスレジンは製ゴミ袋の導入、ネパールの学校へのコンピューターと図書の寄贈、学内のヒーターを自動管理するシステム開発、地域の老人ホームでの活動を通じた地域支援など、生徒たちはさまざまな取り組みを通して、素晴らしいリーダーシップを発揮しました。

4月 国際問題に関する討論会

今年度は、生徒主導による国際問題や世界的な紛争に関する討論会が数多く開催されました。ロシアのウクライナ侵攻、アゼルバイジャンとアルメニア、イラクとパレスチナの紛争等、それぞれの出身国の生徒の話を聞く貴重な機会に、多くの生徒が参加し、平和構築に向けたディスカッションを行いました。



5月 卒業式

5月19日、第8期生89名が卒業式を迎えました。新型コロナウイルスによる行動制限が続いていた最中に入学し、さまざまな世界の分断を在学中に目の当たりにしてきた彼ら彼女らは、UWCのミッションのもと、自らのできることを考え、仲間とともに行動を起こしてきました。多くの生徒が大学への進学予定ですが、起業したり、ギャップイヤーを選択し、社会での経験を積む予定の生徒もおります。



UWC ISAKでは、複雑化する世界において、生徒がポジティブな変化をもたらす存在となるよう後押ししています。当校コミュニティの多様性は、生徒たちの教育の礎となり、彼ら彼女らの自己成長へと繋がっています。国籍だけでなく、経済的あるいは宗教的・文化的にもさまざまなバックグラウンドを持ち、異なる価値観を持つ生徒たちが集まることで、私たちは多様性を重要な学びの要素として活かしています。

この多様性に富んだ当校のコミュニティは、全体の約7割の生徒に家庭の経済状況に合わせた返済不要の奨学金を給付することで実現しています。

毎年、年間予算のおよそ3分の1を占める約5億円を奨学金とし、全体の6割の生徒がふるさと納税を通じたご支援によって支えられています。ふるさと納税を通じていただいたご寄付は、95%が本校に奨学金・地域との国際交流・教育施設の充実に関する事業として、5%が軽井沢町の教育活動支援金として役立てられています。皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

今年度は創立10周年を記念して、「10周年記念基金」の募金活動を生徒、卒業生、保護者、教職員をはじめとしたコミュニティ全体で取り組んでまいりました。現在までに、本基金の大きな目標であったKoshiba Innovation and Creative Center、Health and Wellness Center（仮称）の設備について、皆様からの多大なるご支援のおかげで目標額を超える資金調達を達成いたしました。この活動を通して、当校コミュニティ全体の絆を強化できましたことを、改めて御礼申し上げます。

2023年会計年度 教育活動収支報告書

項目	金額 (単位:百万円)
学生生徒等納付金	1,107.98
授業料、寮費、施設設備資金	1,086.02
入学金	18.90
入学検定料	3.06
寄付金	775.79
一般寄付金	13.63
特別寄付金	223.95
市町村補助金(個人版ふるさと納税)	500.24
企業版ふるさと納税	25.00
現物寄付	12.97
その他	138.34
地方公共団体補助金	69.66
ショートプログラム	48.76
雑収入	19.92

教育活動収入計 2,022.10

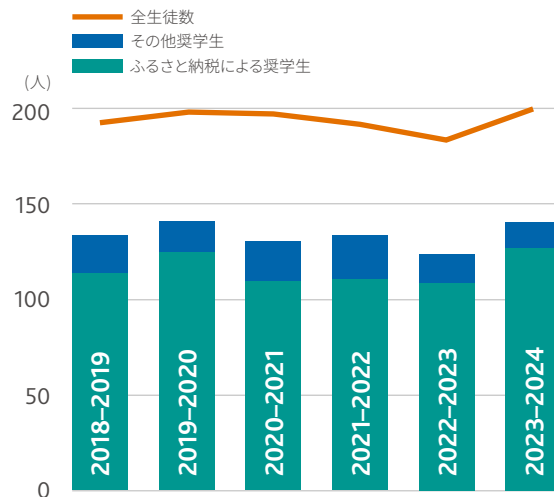
人件費支出	532.59
教員人件費支出	293.97
職員人件費・役員報酬支出	238.62
退職金支出	0.00
教育研究経費支出	747.83
奨学費支出	519.31
その他支出	228.52
管理経費支出	251.56
奨学費支出	45.28
その他支出	206.28
減価償却	80.88

教育活動支出計 1,612.86

教育活動収支差額 409.24

当校は中長期に渡り安定した奨学金制度を維持する目的で毎年約2億円を寄付基金へ割り当てよう最大限つとめております。

奨学生の人数推理



*奨学生はふるさと納税やその他ご支援により全額または部分奨学金を受けている生徒となります。

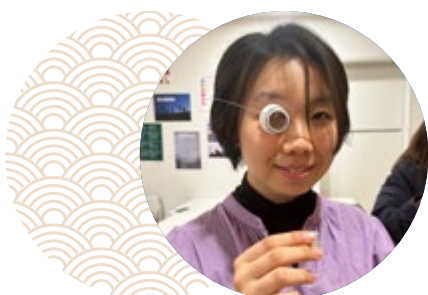


難民の子どもを支援するアプリ開発で「国際子ども平和賞」を受賞

ウクライナ出身のアナスタシア（2023年度3年生）は、難民となった母国の子どもたちを支援するアプリ「Refee」「SVITY」を友人と共に開発し、「国際子ども平和賞」を受賞しました。また、NGO団体SVITを通じて、難民の子どもたちが安全に国境を越え、新しいコミュニティに溶け込めるよう支援することに取り組んでいます。チームメンバーがそれぞれ別の国に住んでいることから、時差や渡航制限の課題にも直面しましたが、彼女らの献身的な取り組みは国際的な評価を受け、紛争の影響を受けた子どもたちへの新しい支援に繋がりました。

農業における革新的なソリューション提案

レバノン出身のアミエンと香港出身のイーサン（2023年度2年生）は、高校1年生時のリーダーシップ・プログラムで、ドローンと衛星画像を活用して土壌や農作物の生育状態を分析し、より効率的に農作物を収穫できるようサポートする「プロジェクト・スプラウト」を立ち上げました。スクールバスでの出会いから始まったこのプロジェクトは、実験のための農地や森林探しに苦戦しながらも、2人の友情とプロジェクトへの情熱が多くの人々との縁を結び、彼らの提案する手法が農業効率を向上させる可能性を実証しました。



「国内学会若手支援プログラム賞」を受賞

ミドリ（2023年度2年生）が医療スタートアップの株式会社OUIの代表取締役でもある清水医師との共著「ディープラーニング視線推定技術を利用した新たな斜視の検出方法の検討」で、日本弱視斜視学会の「国内学会若手支援プログラム賞」を受賞しました。ディープラーニングを応用した新しい斜視検出手法に関する研究です。自身の近視や乱視に悩んだ経験から、視力の悪化を防ぐ様々な方法を考えていたという彼女は、株式会社ユグレナの最高未来責任者（CFO）としても活躍し、チャンジメーカーとしての道を着実に歩んでいます。

コーネル大学からYouTuberに!?母国のチェンジメーカーを支援する卒業生

2020年度に卒業したベトナム出身のアンは、アメリカのコーネル大学在学中にギャップイヤーを取得したことを機に、国際教育についてベトナム語で発信するYouTuberとして活躍しています。UWC ISAK入学当初は母国の教育からかけ離れた授業に馴染めず、大学進学後は進路に迷うなど、決して順風満帆とはいえなかった彼女ですが、自身の情熱と向き合い、YouTuberの道を歩み始めました。そして、その収益を元に、母国の若い世代のチェンジメーカーを支援する奨学金基金の設立、カタリストとしての道を歩み始めています。



宇宙へ挑戦する卒業生

2017年に卒業したヤスは、在学中に当校で出会ったアストロスケール創業者の岡田光信氏の言葉「宇宙はあなたが輝く場所」に深い感銘を受け、宇宙への道を志しました。UWC ISAK在学中、それぞれの興味を探究する友人たちの情熱に触発され、自身の情熱を追求すべく大学で宇宙工学を専攻しました。卒業後は、当時経験者しか採用を行っていなかった宇宙関連企業の門戸を叩き続け、ついにアストロスケール社初の新入社員となりました。宇宙飛行士になることを目指し、現在も彼はさまざまな努力を続けています。

卒業生の物語は当校ウェブサイトもご覧ください。 <https://uwcisak.jp/blog/alumni/>

卒業生の進路 (2017-2023)

この10年で、当校からは127か国500名を超える卒業生が巣立ちました。現在、世界に広がった卒業生たちは、社会にポジティブな変化をもたらすべく活動をしています。進学先も多岐にわたり、イエール大学、プリンストン大学、コーネル大学、ブラウン大学などのアイビーリーグへ進学した卒業生、シンガポール国立大学、ロンドン芸術大学など、各分野の一流大学でそれぞれの道を探求する卒業生、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学、国際基督教大学 (ICU) など、卒業後も日本に留まり、日本で就職した卒業生もいます。また大学進学以外にも、ギャップイヤーを取得したり、ボランティア活動や起業に邁進する卒業生もあり、自らの情熱に向き合い、多様な道を歩んでいます。

オーストラリア

Australian National University
University of Melbourne
University of Monash
University of Sydney
Trinity College

カナダ

Carleton University
Concordia University
Laguna College of Art & Design
Langara College
Mount Allison University
McGill University
Queen's University
Quest University
St.Thomas University
University of British Columbia
University of Toronto
University of Waterloo

日本

大阪大学
岡山大学
金沢大学
慶應義塾大学
九州大学
国際基督教大学
国際教養大学
芝浦工業大学
上智大学
東京大学
東京国際大学
名古屋商科大学
武蔵野美術大学
立教大学
立命館大学
立命館アジア太平洋大学
早稲田大学

オランダ

Amsterdam University College
Delft University of Technology
Erasmus University College
Erasmus University, RSM
Leiden University
Radboud University Nijmegen
Technical University Delft
University of Amsterdam
University of Groningen
University of Maastricht
University of Twente
Utrecht University
Vrije Universiteit Amsterdam

その他ヨーロッパ

CEU Cardinal Herrera University
(Spain)
Eötvös Loránd University
(Hungary)
IE University (Spain)
Semmelweis University (Hungary)
University CEU Cardenal Herrera
(Spain)
University of Mannheim
(Germany)

その他海外

Chulalongkorn University
(Thailand)
Flame University (India)
KIMEP University (Kazakhstan)
Mahidol University (Thailand)
Middle Easter Technical University
(Turkey)
NYU Abu Dhabi (UAE)
RMIT University Vietnam
(Vietnam)
SCAD HK (Hong Kong)
Sultan Qaboos University (Oman)
The Chinese University of HK
(Hong Kong)
National University of Singapore
Yale NUS (Singapore)

イギリス

Abertay University
Arts University Bournemouth
King's College London
Royal Northern College of Music
SOAS University of London
Queen Mary University
University College London
University of Bath
University of Bristol
University of Dundee
University of Durham
University of Edinburgh
University of Exeter
University of Sheffield
University of Manchester
University of St. Andrews
University of The Arts London

アメリカ

Babson College
Bard College
Bates College
Beloit College
Bennington College
Bentley University
Boston University
Bowdoin University
Brandeis University
Brown University
Carleton College
Carnegie Mellon University
Case Western Reserve University
Clark University
Colby College
College of William and Mary
Colorado College
Columbia University
College of Idaho
College of the Atlantic
Concordia College at Moorhead
Cornell University
Davidson College
Duke University
Drexel University
Earlham College
Franklin & Marshall College
Furman University
Georgetown University
Ithaca College
Kalamazoo College
Lewis & Clark College
Lake Forest College
Loyola Marymount University
Luther College
Macalester College
Methodist University
Michigan State University
Middlebury College
Minerva Schools at KGI
Mount Holyoke College
New York University
Northeastern University
Northwestern University
Nova Southeastern University
Oberlin University
Occidental College
Pace University
Parson's School of Design
Pitzer College
Pomona College
Princeton University
Randolph Macon College
Rhode Island School of Design
Ringling College of Art and Design

Rutgers University
Sarah Lawrence College
Savannah College of Art and Design
Santa Clara University
Skidmore College
Smith College
St. Lawrence University
St. Olaf College
Swarthmore College
The New School
Tufts University
Trinity College
Union College
University of Chicago
University of California - Berkeley
University of California - Davis
University of California - Los Angeles
University of Florida
University of Hawaii at Manoa
University of Maine
University of North Carolina
University of Oklahoma
University of Pennsylvania
University of Pittsburgh
University of Richmond
University of Rochester
University of Southern California
University of Utah
University of Virginia
University of Washington
Vanderbilt University
Wake Forest University
Wartburg College
Washington and Lee University
Wellesley College
Wheaton College
Whitman College
Williams College
Worcester Polytechnic Institute
Yale University



“ UWC ISAKの一員となったことで、息子の人生だけでなく、私たちの人生も変わりました。学業面に加え、家族全員に日本文化を紹介するという面でも、息子にとって素晴らしい経験となりました。息子は仲間たちのおかげで、多様な異文化から学ぶ機会を得ることができました。UWC ISAKは私たちの期待を遥かに超え、特別な存在となっています。

“ 私たちのUWC ISAKへの感謝の気持ちは、学業の成果にとどまりません。私たちは、UWC ISAKの教育に対する総合的なアプローチに感銘を受けました。UWC ISAKは学業面での成長に焦点を当てるだけでなく、生徒一人一人の人間的、社会的、感情的な成長も大切にしてくれました。



“ 娘がUWC ISAKジャパンで出会った力強いコミュニティの存在に、私たちはとても感謝しています。多様で包括的なコミュニティの中で、娘は生涯の友を見つけ、異文化への理解を深め、異なる価値観の素晴らしさを知ることができました。私たちは、娘が仲間や先生方、そしてUWC ISAKのコミュニティから温かく優しいサポートを受けたことを心から感謝しています。



“ UWC ISAKの10周年を記念する年に一年生を終えた娘は、私たち家族が予想していなかったような素晴らしい成長を遂げました。UWCで得られるたくさんの機会を娘に与えてくれたUWC ISAKに感謝しています。UWC ISAKはこれからも益々進化し続ける学校になることでしょう。その真ただ中で歩む娘が学校と共にどれほど成長するのか楽しみにしています。





発起人代表

谷家 衛

10周年に際して、いつも応援してくださる全ての皆様に、心より御礼を申し上げます。

16年前、小林りんとUWC ISAKの構想をしている時には、まさかこんな素晴らしい学校を創ることが出来るとは想像もしていませんでした。

One life. Realize your potential. Be a catalyst for positive change.

これは、もちろん、小林りんの類いまれなリーダーシップのおかげですが、同時に関係者全員で創ってこられたのおかげです。初代の卒業生も卒業式で「自分たちが創った」と言いましたし、今年の卒業生も「いろんな提案をして自分たちがより良いUWC ISAKを創った」と言っていました。生徒たちだけではなく、ファウンダー、カタリストサポーター、教職員全員が毎日より改善しようとしている—こんなに関係者がみんなオーナーシップを持って学校を日々良くしようとしている学校は滅多にないと思います。

だからこそ、これまで色々な困難も乗り越えることができ、これからも社会の変化にも合わせて、みんなでどんどんより良い学校を創っていけると確信しています。

私は卒業式が大好きなのですが、毎年、卒業式は、2年生の2人が司会で3年生を送ります。

彼らにとっては卒業生たちは家族同然なので必ず泣いてしまい、多くの人同様、私ももらい泣きすると同時にとても感動します。

その度にUWC ISAKは、これまで自分が関わったプロジェクトで最高のプロジェクトだと痛感します。

この2年、世界中の一流のボーディングスクールで校長を務めてきたマルコムから色々なことを学ぶことができ、10周年の今年の5月の卒業式では、改めて本当に素晴らしい学校になったことをとても誇りに思いました。

来年からアーデンの新しいリーダーシップで更に良い学校になっていくことを確信しています。

UWCのミッションは“Unite people, nations and cultures”ですが、UWC ISAKは美しい自然に恵まれた軽井沢にあるからこそ、日本的（東洋的）価値観であるワンネスを加えて、自然や地球ともUniteすることに貢献していってくれたらと思います。

生徒たちが、より良い世界のために、自分を思いっきり表現して、自分らしい幸せな人生を送ってくれることを心から祈っています。

“One life, realize your potential, be a catalyst for positive change.”



代表理事

小林 りん

10周年に際して、学校設立ならびに開校後の運営に携わって下さった全ての皆様に、心より御礼を申し上げます。軽井沢の地で始まった我々の小さな試みは、ここで学んだ生徒達の人生に直接的に影響を与えたのみならず、「学校は個人が創れるものなのだ」という認識を広めることで、間接的に日本の教育界にも一石を投じる結果となったのであれば光栄の極みです。

謙虚に地道にしかし大胆に、
フロンティアを開拓し続ける存在で
ありたいと願います。

次の10年を展望する時、脳裏に浮かぶのは impact と sustainability の二語です。分断が進み混迷を深める世界において、異なる価値観を理解できるリーダー、自ら行動し世の中に新風を起こせるチェンジメーカーの育成は、益々重要性を増しています。この教育を如何により多くの若い人たちに届けられるのか、またこの活動をどうすれば50年、100年と持続可能にできるのか。

“There is more in us than we know if we could be made to see it; perhaps, for the rest of our lives we will be unwilling to settle for less.” とは、UWC 創始者の教育哲学者 Kurt Hahn の言葉です。卒業生達一人一人に無限の可能性を感じますし、人生を通じて挑戦をしていって欲しいと思います。と同時に我々自身も、謙虚に地道にしかし大胆に、フロンティアを開拓し続ける存在でありたいと願います。次の10年も、皆様とその歩みをご一緒させて頂けますことを、楽しみに致しております！



次期校長

アーデン・チョシン

この一年、この素晴らしい軽井沢のキャンパスで、新しい仲間と過ごせたことを大変嬉しく思います。特に、生徒から刺激を受け、彼らから学ぶことができたことは、何よりも大切なことでした。

北極星のように私たちが未来へと
導き続けるミッションに進化
させていく所存です。

私は次の10年のスタートとなる来年度を心待ちにしています。これまで築かれた10年の成功を礎とし、当校のミッション・ステートメントとモットーの本質を引き続き実践する未来を思い描いています。それは、さまざまな人々や考え方を学び合う能力、レジリエンスを高めるスキル、心身ともに健康であることを意識することなど、現在と未来のチェンジメーカーにとって必要不可欠な素養を生徒たちが養うことです。

次の10年に向けて、私たちが導くものは何か。それは、インスピレーションに満ちあふれた私たち独自の UWC ISAK のミッションだと確信しています。今年5月に開催された年次総会で、私たちはミッション・ステートメントをより明確化し、日々の決断の指針となる羅針盤のような存在にする可能性を検討し始めました。変更するかどうかにかかわらず、北極星のように私たちが未来へと導き続けるミッションに進化させていく所存です。

UWC ISAK が10周年を迎えられましたのは、これまで支えてくださった皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。私たちがこれから数年間、どのように大胆な決断を下し、どのような20周年を迎えることになるか、共に楽しみながら歩んでいきましょう。



ご支援ありがとうございます

当校へのご支援は
こちらから

uwcisak.jp/ja/giving